

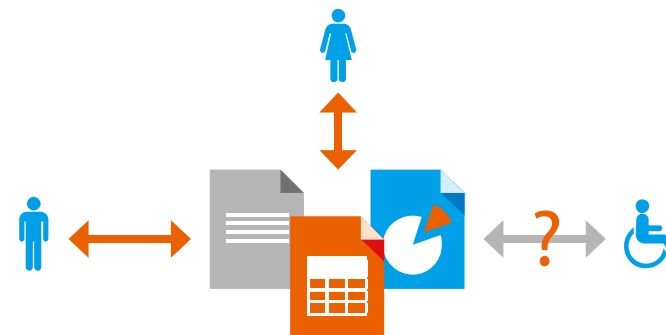
# だれもが使用できる ドキュメントを 作成していますか？

重要なドキュメントを用意するとき、  
障害のある方にも  
利用できるように作成する  
努力を怠ったとしたら、  
一般的な社会的価値観に  
反するだけでなく、  
違法になる場合も  
あります。

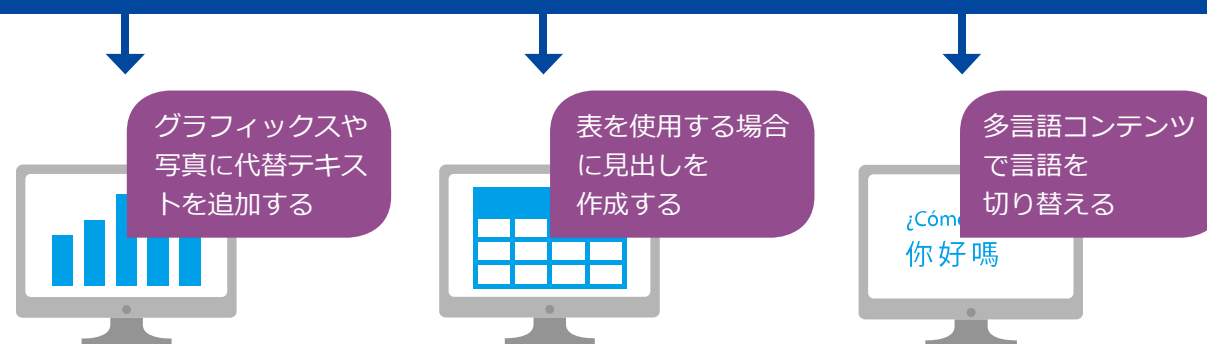


企業にとって、ドキュメント、  
スプレッドシート、  
プレゼンテーションは重要な情報です。

しかし、一部の従業員が  
障害を抱えているために、  
閲覧、編集できないとしたらどうなるでしょうか。



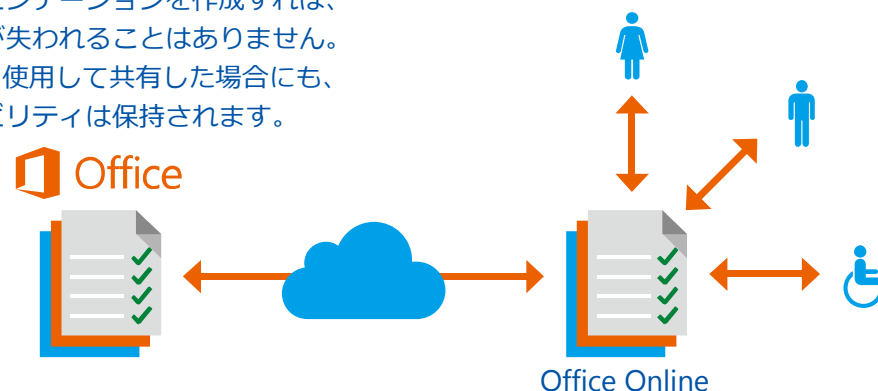
視覚に障害のある方は、スクリーンリーダーを使用すると、画面の表示内容を合成音声で聞くことができます。スクリーンリーダーソフトウェアがより正確に認識できるドキュメントを作成するために、たとえば以下のポイントに気をつけて工夫しましょう。



Microsoft Office の  
アクセシビリティ  
チェック機能により、  
アクセシビリティの  
高いドキュメントを  
簡単に作成できます。



Microsoft Office を使用してアクセシビリティの高いドキュメント、  
スプレッドシート、プレゼンテーションを作成すれば、  
その後アクセシビリティが失われることはありません。  
Office や Office Online を使用して共有した場合にも、  
ドキュメントのアクセシビリティは保持されます。



詳細はこちら

➡ <http://www.microsoft.com/ja-jp/enable>

Microsoft